

各 位

上場会社名	特種東海製紙株式会社
代表者	代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
(コード番号)	3708)
問合せ先責任者	取締役 常務執行役員 CFO 兼 財務・IR本部長 関根 常夫
(TEL)	03-3281-8581)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月21日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,000	2,000	—	—	—
今回修正予想(B)	76,000	1,800	3,600	4,000	295.94
増減額(B-A)	△5,000	△200	3,600	4,000	
増減率(%)	△6.2	△10.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	80,603	2,870	5,389	3,694	266.07

修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が弊社事業のうち特殊印刷用紙や一部製品の輸出数量に影響を与えることを想定し、2020年5月21日公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、売上高については20億円、営業利益については11億円を影響金額として見込み、売上高810億円、営業利益20億円を業績予想として公表しておりました。

今般、新型コロナウイルス感染拡大による弊社事業への影響が、当初想定より拡大することが見込まれ、売上高につきましては、特殊素材事業における特殊印刷用紙や一部製品の輸出数量への影響が当初想定を上回る見込みであること、生活商品事業におけるラミネート製品等当初想定していなかった事業分野へも影響が拡大していることから、上記修正額50億円のうち約30億円を新型コロナウイルスの影響金額として見込んでおります。

営業利益につきましては、上記新型コロナウイルスの影響による売上高の減少に伴い8億円程度の利益押し下げ要因があるものの、原価改善、経費および管理費の削減効果等のプラス要因により、2億円を下方修正額としております。

また、未定としていた経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、営業外損益に関わる新型コロナウイルスの影響を一定の前提で想定したうえで、上記の通り公表いたします。

(注)上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以 上